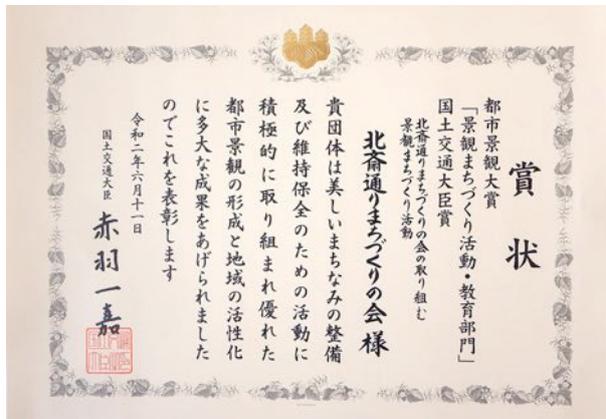


北斎通りまちづくりの会

北斎通りまちづくりの会は、すみだ北斎美術館がある墨田区亀沢を活動範囲とし、北斎通りを中心とした景観まちづくりとまちの活性化について住民が考え、主体的に活動する地域団体です。住民同士の連携を深め、誇りと愛着を持てるまちにすることを目的として2005年に設立されました。墨田区の「地区まちづくり認定団体」として活動しており、令和2年度の都市景観大賞（国土交通大臣賞）を受賞しました。



北斎祭りでの「金魚ねぶた」

墨田区亀沢を活動範囲とする地域団体である北斎通りまちづくりの会は、地域祭として北斎祭りを2006年より毎年秋に行っています。北斎祭りではゆかりの地との連携を心がけており、現在のすみだ北斎美術館（墨田区亀沢2-7-2）がある敷地は江戸時代後期に弘前藩津軽家の上屋敷があった由縁より、青森県人会の協力を受け弘前（津軽）の民芸品である金魚ねぶたづくりワークショップを2009年より毎年行っております。2011年と2016年には金魚ねぶたの運行を北斎通りで行いました。



弘前市とのつながり

金魚ねぶたづくりワークショップや金魚ねぶたの運行による機運の盛り上がりを受け、2017年に青森県弘前市からお話があり、弘前ねぶたを運行することになりました。以来、毎年の北斎祭りの日に北斎通りにてねぶた運行を行っています。当日は弘前市から担ぎ手やお囃子など70名ほどが参加します。新型コロナウイルスの影響で2020年・2021年と弘前ねぶた運行が出来なくなりましたが、弘前市より地域間の友好のしるしとして北斎通りまちづくりの会へ弘前の民芸品である金魚ねぶたが贈呈され、北斎祭りで展示することになりました。

